

資料 1

平成29年度 朝ごはん運動実績

基本方針		1 ごはんを中心とした食生活の改善							
ガイドライン項目		(1) ごはんを中心とした食生活の推進に関する事項							
ガイドライン	・朝食を欠食する児童生徒を、平成13年度の11.3%から0%を目指す ・幼児、児童、生徒の肥満児の割合を、平成15年度の16.7%から7%以下にすることを旨とする			実績				評価	
				・朝食を欠食する子ども「食生活状況等調査」 H25:8.5%→H29:9.6% 1.1ポイント増 ・肥満傾向の子ども「肥満状況調査」 H26:11.67%→H29:10.38% 1.29ポイント減 ・正しい生活（食）習慣について、乳幼児健診等において健康教育を実施した。				平成29年度	
									
								平成28年度	
									
実施計画	事務事業名	事務事業内容	実施目標等	平成29年度		平成28年度		担当	
				予算額(千円)	決算額(千円)	進捗状況等	進捗状況等		
	①	朝食欠食状況調査の実施	食生活状況等調査(1回/3年)	子ども(3歳~15歳)の状況把握	144	108	回答1,108人	未実施	健康保険課 教育委員会
			総合健診時のアンケートの実施	各年代(40歳以上)の状況把握	10	10	回答1,505人	回答1,565人	
	②	肥満状況の把握	保育所幼稚園及び小中学校の身体測定と特定健診のデータから把握	対象者1,284人(3~15歳)	40	10	回答1,175人	未実施	
③	正しい生活(食も含む)習慣の啓発の推進	乳幼児健診における健康教育、チラシ及び広報等で周知	年56回実施	10	0	誕生証書交付式12回 53人 乳児健診・相談36回205人 1歳6か月児健診 4回 75人 2歳6ヶ月児健診 4回 81人 3歳児健診 4回 77人 合計 60回491人	乳幼児健診 56回実施(440人)	健康保険課	
④	朝ごはん運動の推進啓発活動	成人式などの開催時		0	0	朝ごはんのパンフレットを配布し、啓発活動をした。	パンフレット等を配布し、啓発活動をした。	教育委員会	
計				204	128				

平成29年度 朝ごはん運動実績

基本方針		1 ごはんを中心とした食生活の改善																	
ガイドライン項目		(2) 家庭での食に対する理解の促進に関する事項																	
ガイドライン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1日当たりの塩分摂取量を、平成15年度の13.2gから10.0g未満を目指す</li> <li>・1日当たりの野菜摂取量を、平成14年度の217.3gから350.0g以上を目指す</li> <li>・毎日1個のりんごを食べる</li> </ul>			実績			評価												
							平成29年度												
							平成28年度												
実施計画	事務事業名		事務事業内容	実施目標等	平成29年度		平成28年度		担当課										
					予算額(千円)	決算額(千円)	進捗状況等	進捗状況等											
	①	食卓に増やそう野菜減らそう塩分運動の推進	健康食の普及	いのちのまつり及び随時実施	60	15	だしの試飲、野菜きんぴらの混ぜご飯など 2回920人	だしの試飲、できるだけ炊き込みご飯など 2回725人	健康保険課										
	②	町総合健診時の朝食提供	総合健診受診者への、減塩で野菜の多い朝食の提供	若い受診者を対象に日曜日に実施(180食/3日)	480	80	野菜たっぷり減塩定食提供 3回220人	野菜たっぷり具たくさん減塩豚汁提供 29回2,100人	健康保険課										
	③	離乳食教室の開催	4か月、7か月、10か月の母親を対象に実施	各月1回実施	88	93	36回205人	36回232人	健康保険課										
	④	野菜を多く使った調理実習の実施(健康教室)	健診受診者を対象に実施	年2回	135	15	3回86人	5回27人	健康保険課										
	⑤	尿中塩分検査の実施	特定健康診査受診者	年1回実施 対象者2,400人 目標 平均12.0g	505	477	塩分平均12.16g 男12.69g 女11.71g	塩分平均11.77g 男12.19g 女11.40g	健康保険課										
	新⑥	対象者別調理実習	対象に合わせた実習をしながら減塩で野菜をたくさん食べることを学ぶ	年6回	80	30	おやこ食育、シニアのための料理、男性のための料理等 5回56人	実施無し	健康保険課										
新⑦	健康長寿アップセミナーの開催	・子どもの頃からの食生活の大切さ ・食卓に増やそう野菜減らそう塩分	今年度2回開催	172	228	セミナー5回中 3回437人	実施無し	健康保険課											
計				1,520	938														

平成29年度 朝ごはん運動実績

基本方針		1 ごはんを中心とした食生活の改善								
ガイドライン項目		(3)安全な食品を選択するために必要な正しい知識の習得の支援に関する事項								
ガイドライン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食生活と栄養に関する学習の場を増やす</li> <li>・安全な食品に対する情報提供の場を増やす</li> </ul>			実績			評価			
				<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区伝達料理教室やいのちのまつりにおいて、学習と情報提供を実施した。</li> </ul>			平成29年度	○		
							平成28年度		○	
実施計画	事務事業名	事務事業内容	実施目標等	平成29年度		平成28年度	担当課			
				予算額(千円)	決算額(千円)	進捗状況等		進捗状況等		
	①	地区伝達講習会の実施	安全な食品及び栄養に関する情報提供	年6回実施	10	10		地区伝達料理、お正月料理、鶴田高校、保健協力員等 16回319人	10回197人	健康保険課
	②	食生活と栄養に関する学習の場づくり	いのちのまつり開催時食生活改善推進員及び栄養士会による情報提供	いのちのまつり時実施	10	11		展示・相談・チラシ配布 2回1,130人	展示・相談・チラシ配布 2回900人	健康保険課
計				20	21					

平成29年度 朝ごはん運動実績

基本方針		2 早寝、早起き運動の推進		
ガイドライン項目		(1)規則正しい生活習慣の促進に関する事項		
ガイドライン	<ul style="list-style-type: none"> <li>酒は1日1合程度で週に2日の休肝日を目指す</li> <li>1日10,000歩のウォーキングを目指す (年齢や健康状態で歩数を個人で調整)</li> <li>喫煙者の減少を目指す</li> <li>1年に1回は健康診査の受診を目指す</li> <li>鶴田町健康づくり推進協議会等の活性化を図り、健康づくりと受診率向上を目指す</li> <li>十分な休養と睡眠を取りストレスの軽減を目指す</li> </ul>	実績		
				評価
		<ul style="list-style-type: none"> <li>お酒を毎日飲む「総合健診アンケート」 H26:26.4%→H29:25.6% 0.8ポイント減</li> <li>喫煙の習慣がある「総合健診アンケート」 H26:20.5%→H29:18.4% 2.1ポイント減</li> <li>特定健診受診率(6月末暫定値) H26:45.0%→H29:45.8% 0.8ポイント増</li> <li>睡眠で休養が十分とれている「総合健診アンケート」 H26:73.3%→H29:73.2% 0.1ポイント減</li> <li>健診受診勧奨、総合健診、健診結果説明会、生活習慣病予防学習会等を実施した。</li> </ul>		平成29年度
				平成28年度
		○		
		△		

平成29年度 朝ごはん運動実績

	事務事業名	事務事業内容	実施目標等	平成29年度		平成28年度	担当課	
				予算額(千円)	決算額(千円)	進捗状況等		
実 施	① 生活習慣病予防学習会の実施	随時実施	年120回実施	110	215	生活習慣病予防・健診のすすめ講話、健康体操等200回16,117人	生活習慣病予防・健診のすすめ講話、健康体操等236回21,345人	健康保険課
	② 健康診査の実施	特定健診	目標受診数 1,700人	12,916	10,566	対象3,287人 受診1,505人(45.8%)	対象3,450人 受診1,565人(45.4%)	健康保険課
		胃がん検診	目標受診数 1,500人	10,800	5,864	対象3,913人 受診1,086人(27.8%)	対象4,042人 受診1,482人(36.7%)	健康保険課
		大腸がん検診	目標受診数 1,600人	5,324	2,799	対象5,533人 受診1,525人(27.6%)	対象5,695人 受診1,591人(27.9%)	健康保険課
		肺がん検診	目標受診数 1,900人	4,563	2,830	対象5,533人 受診1,747人(31.6%)	対象5,695人 受診1,872人(32.9%)	健康保険課
		子宮頸がん検診(卵巣がん含む)	目標受診数 1,172人	4,718	6,180	対象3,785人 受診1,004人(26.5%)	対象3,908人 受診1,039人(26.6%)	健康保険課
		乳がん検診	目標受診数 1,141人	3,127	3,136	対象2,776人 受診 969人(34.9%)	対象2,854人 受診 968人(33.9%)	健康保険課
③ がん検診精密検査料自己負担額補助事業	各種がん検診要精検者の検査料の一部を補助	320人(6割)申請(限度額8,000円)	2,036	1,572	対象 496件 受診 410件(82.7%)	対象 534件 受診 449件(84.0%)	健康保険課	
④ 健診受診勧奨	健診の合間に受診勧奨をする。	年24回程度	10	10	電話連絡11回666件 家庭訪問125件	電話連絡24回1,622件 家庭訪問303件	健康保険課	
計	⑤ 健診結果説明会	30代及び国保特定健診受診者に対して健診結果の説明と保健指導を実施	目標 1,700人	134	112	対象1,171人 利用1,129人(96.4%)	対象1,081人 利用1,041人(96.3%)	健康保険課
画	⑥ 地域体験活動事業	ジュニアリーダー研修会で体験学習	年1回実施 参加目標者数 30人	140	100	10/7~10/8、長平青少年旅行村(参加者33人)で開催。自炊宿泊等の体験を実施。	10月8日~10日、梵珠少年自然の家(参加者22人)で開催。自炊合宿等の体験を実施。	教育委員会
	⑦ 朝の10分間読書	町内全小中学校で実施	毎日実施	1,875	1,875	毎日	毎日実施	教育委員会
	⑧ 鶴田町学校保健会講習会	保健に関する講習会 小中学校教職員対象	年3回実施	0	0	調査活動(町内小・中学校 かぜ状況調査)12~3月実施 養護教諭会 4回開催 各種研究大会への派遣 (北五学校保健会、西北五 合同学校保健研究大会)	調査活動(町内小・中学校 かぜ状況調査)12~3月実施 養護教諭会 4回開催 各種研究大会への派遣 (北五学校保健会、西北五 合同学校保健研究大会)	教育委員会
計				45,753	35,259			

平成29年度 朝ごはん運動実績

基本方針		2 早寝、早起き運動の推進						
ガイドライン項目		(2)就寝及び起床の標準時間に関する事項						
ガイドライン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・幼児期 睡眠は、現状が9時間程度であるが、11時間以上を目指す 就寝は、午後8時までを目指す</li> <li>・学童期低学年 起床は、学校が始まる2時間前を目指す 就寝は、午後9時までを目指す</li> <li>・学童期高学年 起床は、学校が始まる2時間前を目指す 就寝は、午後10時までを目指す</li> <li>・中学生、高校生 睡眠は、7時間以上を目指す 起床は、朝ごはんの時間を含めた余裕のある起床時間を目指す</li> </ul>	実績				評価		
		*子どもの起床と就寝「食生活状況等調査」				平成29年度		
		幼児期	起床6時30分より前 H25:34.2%→H29:32.9% 1.3ポイント減	就寝21時より前 H25:11.7%→H29:16.7% 5.0ポイント増			平成28年度	
		学童低学年	起床6時30分より前 H25:65.5%→H29:59.7% 5.8ポイント減	就寝21時より前 H25:13.4%→H29:12.9% 0.5ポイント減				
		学童高学年	起床6時30分より前 H25:60.4%→H29:63.5% 3.1ポイント増	就寝22時より前 H25:53.5%→H29:56.3% 2.8ポイント増				
中学生	起床6時30分より前 H25:32.5%→H29:36.5% 4.0ポイント増	就寝23時より前 H25:46.0%→H29:48.1% 2.1ポイント増						
*乳幼年期から早寝早起きの生活リズムが身につくよう、乳幼児健診等において知識の普及を行った。								
実施計画	事務事業名	事務事業内容	実施目標等	平成29年度		平成28年度		担当課
				予算額(千円)	決算額(千円)	進捗状況等	進捗状況等	
	① 就寝、起床時間の調査の実施	対象：3歳から15歳まで	「食生活等状況調査」(3年に1回の実施)と一体的に実施。(対象は、1,284人)	144	108	回答1,108人	未実施	健康保険課 教育委員会
	② 幼児の就寝、起床時間の調査の実施	幼児健診における調査	年8回実施	10	10	1歳6か月児健診4回 75人 3歳児健診4回 77人	1歳6か月児健診4回 78人 3歳児健診4回 79人	健康保険課
	③ 適正な生活リズム定着への支援	乳幼児保護者への啓発	誕生証書交付式 年12回 乳児健診 年36回 1歳6か月児健診 年4回 3歳児健診 年4回	56	10	誕生証書交付式12回53人 乳児健診・相談36回205人 1歳6か月児健診4回75人 3歳児健診4回77人	誕生証書交付式12回51人 乳児健診・相談36回232人 1歳6か月児健診4回78人 3歳児健診4回79人	健康保険課
④ 早寝、早起き運動の実施	チラシ等による啓発	年3回実施	0	0	ほけんだより等で年6回周知。	ほけんだより等で周知(年7回実施)したため。	教育委員会	
	各小中校の校長、養護教諭、学校職員による児童、生徒への周知	随時実施	0	0	長期休暇前のほけんだより等で周知の他、保護者アンケート、授業等で指導した。	長期休暇前のほけんだより等で周知、指導した。		
計			210	128				

平成29年度 朝ごはん運動実績

基本方針		3 安全及び安心な農産物の供給								
ガイドライン項目		(1)農薬等の適正な使用及び管理の徹底に関する事項								
ガイドライン				実績		評価				
	・食用作物等への農薬使用について、農薬登録時に定められた基準である適用作物の単位当たり使用量の最高限度又は希釈倍数の最低限度、使用時期、使用総回数を順守し安全・安心な産地づくりを推進する			農薬取締法の農薬使用基準について研修会を開催し、農薬の特性、薬剤の選択、散布時期などについての周知徹底が図られた。 また、残留農薬のポジティブリスト制度について、農薬の飛散（ドリフト）防止技術の向上が図られた。		平成29年度	○			
						平成28年度		○		
実施計画	事務事業名	事務事業内容	実施目標等	平成29年度		平成28年度		担当課		
				予算額(千円)	決算額(千円)	進捗状況等	進捗状況等			
	①	農薬使用技術講習会開催	農事振興会及び防除組合等を対象に農薬使用技術講習会を開催し、農薬使用基準の遵守を図る	年2回開催	0	0	水稲現地講習会 2回 (町農業支援センター) 農薬使用現地講習会 4回(町共防連)		水稲現地講習会 2回 (町農業支援センター) 農薬使用現地講習会 5回(町共防連)	産業課
	②	ポジティブリスト制度の啓発活動	農薬使用基準等や飛散防止に係わる情報の提供	年1回配布	206	206	ドリフト注意喚起チラシ 1回配布 農事普及だより 8回配布		ドリフト注意喚起チラシ 1回配布 農事普及だより 8回配布	産業課
計				206	206					
※ ポジティブリスト・・・すべての食品について、農薬などすべての化学物質の基準を定め、超えると出荷を停止する制度。 ※ ドリフト・・・農薬の使用におけるドリフトとは、散布された農薬が目的外の作物に付着してしまう現象。										

平成29年度 朝ごはん運動実績

基本方針		3 安全及び安心な農産物の供給							
ガイドライン項目		(2) 農産物の生産履歴の記帳に関する事項							
ガイドライン				実績		評価			
	・生産履歴の公開と流通情報も組み込んだトレーサビリティ（追跡可能）を図り、消費者の求める表示内容の正確性、信頼性に対応するため生産者は農産物の安全性をアピールし、付加価値を付ける			現地講習会でのトレーサビリティに関する説明や、GAP認証取得のための支援対策及び若手農家を対象としたGAP講習会の開催により、農産物の安全性と消費者への信頼性確保が図られた。		平成29年度			
						平成28年度			
実施計画	事務事業名		事務事業内容	実施目標等		平成29年度		担当課	
					予算額(千円)	決算額(千円)	進捗状況等		
							平成28年度		
	①	トレーサビリティの強化	各関係機関との検討会及び情報交換会の開催	年2回開催	0	0	水稲現地講習会 2回 (町農業支援センター)	水稲現地講習会 2回 (町農業支援センター)	産業課
	②	農産物等の生産履歴記帳及び適正農業規範(GAP)の推進	認証取得促進チラシなどによる周知活動	年1回実施	660	281	GAP研修会補助 1件 GAP等認証取得費用補助 4件 若手農業者を対象としたGAP講習会 2回	GAP相談、取得指導等 グローバルGAP認証取得 3名	産業課
	計				660	281			
※ トレーサビリティ … 食品の生産、加工、流通などの各段階で、原材料の出所や製造元、販売先などの記録を記帳・保管し、食品とその情報を追跡できるようにすること。 ※ GAP(ギャップ) … 「品質」「安全性」「環境への配慮」などの一定基準を満たした農作物に認められる規格。									

平成29年度 朝ごはん運動実績

基本方針		3 安全及び安心な農産物の供給						
ガイドライン項目		(3)食品表示の適正化の推進に関する事項						
ガイドライン	・農林物資の規格及び品質表示の適正化に関する法律（改正JAS法）のもと有機農産物及び有機農産物加工食品のJAS規格について、生産方法及び表示を明確化することにより信頼性を確保し農産物等の価値を正當に評価される活動を展開する			実績			評価	
				消費者への信頼性確保のため、JAS法及び食品衛生法に基づく食品表示等について、研修会などとおして理解を深めた。			平成29年度	○
							平成28年度	
実施計画	事務事業名	事務事業内容	実施目標等	平成29年度		平成28年度	担当課	
				予算額(千円)	決算額(千円)	進捗状況等		進捗状況等
①	食品表示に関する講習会	各種食品表示に関する講習会への参加	随時	0	0	あるじゃ農産物販売コーナーでの点検・指導	あるじゃ農産物販売コーナーでの点検・指導	産業課
②	農産物生産に関する表示適正化	農協やあるじゃ等と連携を図りながら表示に関する指導活動	年2回実施	0	0	野菜等生産研修会 2回（あるじゃ産直友の会）	野菜等生産研修会 2回（あるじゃ産直友の会）	産業課
計				0	0			

平成29年度 朝ごはん運動実績

基本方針		3 安全及び安心な農産物の供給								
ガイドライン項目		(4)環境にやさしい安全及び安心な農産物の生産体制の強化に関する事項								
ガイドライン				実績		評価				
	・地球温暖化防止や生物多様化保全に効果の高い営農活動に取り組む農業者を育成する ・土づくり、化学肥料、化学農薬の使用低減を行い持続性の高い農業生産方式の導入を推進する			環境に優しい営農活動に取り組む農業者に対し、補助事業の活用や制度の周知等の支援を行った。 県と連携し、稲わらを有効活用した土作りに関する各種取り組みを実施した。		平成29年度				
						平成28年度				
					 					
実施計画	事務事業名		事務事業内容	実施目標等		平成29年度		担当課		
				予算額(千円)	決算額(千円)	進捗状況等				
							平成28年度			
新①	環境保全型農業推進事業		地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い営農活動を支援	目標件数：2件		2,440	173	事業実施者 2法人	1件(1法人)	産業課
②	日本一健康な土づくり実践事業		土づくり等の環境保全農業活動の促進	チラシ配布：年1回		0	0	稲わら有効活用啓発チラシ配布 1回 稲わら有効活用推進施策の実施	稲わら有効活用啓発チラシ1回配布 稲わら有効活用推進施策の実施	産業課
計				2,440	173					

平成29年度 朝ごはん運動実績

基本方針		3 安全及び安心な農産物の供給						
ガイドライン項目		(5)食品の安全及び安心に係る消費者への情報提供に関する事項						
ガイドライン	・農政改革大綱において消費者の視点を重視した食糧政策構築の観点から消費形態の多様化や味、鮮度、健康、安全性に対する事項について情報提供する			実績			評価	
				町および県内で実施した農林水産物に係る放射性物質測定結果についての情報を提供した。			平成29年度	○
							平成28年度	
実施計画	事務事業名	事務事業内容	実施目標等	平成29年度		平成28年度	担当課	
	① 食品の安全及び安心に係る情報	チラシやパンフレットなどによる農産物の安全・安心の周知活動	随時	予算額(千円)	決算額(千円)	進捗状況等		
				0	0	チラシ「食の安全・安心情報」を10月に配布		チラシ「食の安全・安心情報」を10月に配布
計				0	0			

平成29年度 朝ごはん運動実績

基本方針		4 鶴田町において生産された農産物の当該地域内における消費（以下「地産地消」という。）の推進								
ガイドライン項目		(1)地産地消の推進体制の整備に関する事項								
ガイドライン	・各種農業団体と連携し地場産品の生産振興及び消費拡大を図る ・地場産品等の生産振興及び加工品の開発を図る			実績			評価			
				グリーンツーリズムの拠点施設である「あるじゃ」を核として、町内に点在する各観光農園（さくらんぼ、ぶどう、りんご）情報を町HP等に掲載し、県内外への情報発信が図られた。 当町産の大豆、米、小麦の加工商品の開発及び製造・販売により、地産地消の推進が図られた。						平成29年度
										○
						平成28年度				
						○				
実施計画	事務事業名	事務事業内容	実施目標等	平成29年度		平成28年度	担当課			
				予算額(千円)	決算額(千円)	進捗状況等		進捗状況等		
	①	地場産品の生産振興の推進と消費拡大	観光農園の積極的なPR活動	随時	0	0		あるじゃ及び町HPからの情報発信により、県内外へのPR活動を実施した	あるじゃ及び町HPからの情報発信により、県内外へのPR活動を実施した	産業課
②	大豆・米加工施設の利用促進	加工商品の開発及び製造・販売の強化	随時	0	0	大豆、米、小麦の加工商品の開発、製造・販売を行った	大豆、米、小麦の加工商品の開発、製造・販売を行った	産業課		
計				0	0					

平成29年度 朝ごはん運動実績

基本方針		4 鶴田町において生産された農産物の当該地域内における消費（以下「地産地消」という。）の推進								
ガイドライン項目		(2) 町民による鶴田町において生産された農産物（以下「地場産品」という。）の積極的使用に関する事項								
ガイドライン	・マーケティング・リサーチ活動を実施し、地場産品の把握及び販売の強化について方針を立てる			実績			評価			
				当町産つがるロマン及び大豆・小麦加工品について、あるじゃ店頭販売のほか学校給食用などで消費が図られた。			平成29年度			
							平成28年度			
実施計画	事務事業名	事務事業内容	実施目標等	平成29年度		平成28年度	担当課			
				予算額(千円)	決算額(千円)	進捗状況等		進捗状況等		
実施	① 当町産米の積極的活用と消費拡大	学校給食での活用及び、あるじゃ加工施設で加工・商品化し消費拡大を図る	加工量：15,000kg うち学校給食：10,000kg	0	0	当町産つがるロマンを使用 加工量 12,909kg ・学校給食 8,293kg ・米粉 450kg ・その他 4,166kg	鶴の輝きに代わり、当町産つがるロマンを使用 加工量 15,098kg ・学校給食 10,842kg ・米粉 421kg ・その他 3,835kg	産業課		
	② 転作作物として生産された大豆・小麦加工品の消費拡大	当町産の大豆・小麦をあるじゃ加工施設で加工・商品化し消費拡大を図る	7,500kgを豆腐、テンペ等に加工・販売	0	0	加工量 3,990kg ・学校給食 1,147kg ・豆腐 2,736kg ・味噌 235kg ・その他 140kg ・ソフト・シェイク 5,408個	加工量 7,681kg ・学校給食 2,894kg ・豆腐 5,603kg ・味噌 297kg ・その他 264kg ・ソフト・シェイク 9,128個	産業課		
小麦7,000kgをあるじゃ加工施設で加工・販売			0	0	加工量 2,450kg びっくりパン、食パン 米粉パンなどに使用	加工量 6,390kg びっくりパン、食パン 米粉パンなどに使用	産業課			
画	③ 各料理教室の開催	町における料理教室	年12回開催(教養講座)	112	112	7月～12月まで公民館調理室にて料理教室を12回開催。延べ参加人数144人	7月～12月まで公民館調理室にて料理教室を12回開催。延べ参加人数115人	教育委員会		
			年1回開催(農家女性いきいき講座)	35	20	農家女性いきいき講座 1回開催。23人参加	開催せず	産業課		
計				147	132					

平成29年度 朝ごはん運動実績

基本方針		4 鶴田町において生産された農産物の当該地域内における消費（以下「地産地消」という。）の推進						
ガイドライン項目		(3)地場産品を使用した学校給食の推進に関する事項						
ガイドライン	・安全で安心な地場産品を使用した学校給食を提供するための生産・流通体制の整備を目指す	実績				評価		
						平成29年度		
		平成29年度学校給食に使用した地場産品は、米・野菜・果実等14品目で、鶴田産14.9%(H28:16.6%)、青森県産50.2%(H28:49.5%)を使用しており、食材全体使用量の65.1%(H28:66.1%)を占めている。 玉ねぎ、大根、にんじんの使用料の増加に伴い、昨年と比べ野菜等の使用量は約1,204kg増加したものの、学校給食として当町産大豆を原料とした豆腐を供給している道の駅「鶴の里あるじゃ」の拡幅工事に伴い一時供給を中断したことなどから、地場産品の使用割合では1.7ポイント低下している。 地場産品の安定供給を図るため学校給食応援隊や関係機関との連携をさらに強化する。				平成28年度		
実施計画	事務事業名	事務事業内容	実施目標等	平成29年度		平成28年度		担当課
				予算額(千円)	決算額(千円)	進捗状況等	進捗状況等	
①	学校給食応援隊の活動推進	地元農家から給食の食材として地場産品を提供してもらう制度の確立	じゃがいも、玉ねぎ等 3,000kg	0	0	野菜等の使用量 4,017kg じゃがいも 413kg 玉ねぎ 1,291kg 長ねぎ 563kg 大根 608kg にんじん 634kg 長なす 5kg パプリカ 5kg 白菜 149kg ミニトマト 118kg キャベツ 40kg ピーマン 25kg みそ 166kg	野菜等の使用量 2,813kg じゃがいも 380kg 玉ねぎ 746kg 長ねぎ 690kg 大根 117kg にんじん 363kg ピーマン 27kg パプリカ 5kg なす 51kg ミニトマト 186kg キャベツ 46kg みそ 177kg さくらんぼ 25kg	教育委員会
②	学校給食に地場産品の活用	米・りんご等の使用	米は「つがるロマン」を使用 11月からりんごを提供	0	0	米は、鶴田産「つがるロマン」を提供 9,180kg 大豆 78kg 豆腐 1,076kg 大豆加工品 233kg りんご(無償) 2,200kg ぶどう(無償) 120kg	米は、「つがるロマン」を提供 10,842kg りんご(無償) 2,344kg ぶどう(無償) 120kg	教育委員会
計				0	0			

平成29年度 朝ごはん運動実績

基本方針		4 鶴田町において生産された農産物の当該地域内における消費（以下「地産地消」という。）の推進						
ガイドライン項目		(4)町長、関係機関及び関係団体が行う事業における、地場産品の積極的使用に関する事項						
ガイドライン	・農業協同組合、あるじゃ、津軽ぶどう協会、各種農業団体等と連携し、地場産品の販路拡大を推進する			実績			評価	
				町内外イベントにおいて、地場産品を賞品や材料として使用するとともに、特産品販売やPR活動による販路拡大と情報発信が図られた。			平成29年度	
							平成28年度	
実施計画	事務事業名	事務事業内容	実施目標等	平成29年度		平成28年度	担当課	
	① 町内イベントでの地場産品の紹介	鶴の舞橋桜まつり	年1回開催	予算額(千円)	決算額(千円)	進捗状況等		進捗状況等
		町民文化祭などの記念品、賞品に活用	年1回開催	42	75	鶴の舞橋カラオケ大会 (第10回大会及びチャンピオン大会) 賞品(あるじゃ)	鶴の舞橋カラオケ大会 賞品(あるじゃ)	企画観光課
		フードリバー市民と親しくする会、新年を祝う会で紹介	年2回実施	44	50	町民文化祭スタンプラリーであるじゃの特産品を賞品で活用。	町民文化祭の賞品をあるじゃの特産品で活用。	教育委員会
				423	259	年3回実施 ・フードリバー市民と親しくする会 ・新年を祝う会 ・イングリッシュデイ	年3回実施 ・フードリバー市民と親しくする会 ・新年を祝う会 ・外国青年による津軽弁大会	企画観光課
	② 町外イベントでの地場産品の紹介	県外物産展で紹介・販売	年1回参加	235	226	計2回 ・東北復興大祭典なかの ・さつまフェスタ	計1回 ・青森人の祭典	産業課
		ふるさと鶴田会総会・役員会・県庁鶴田会で紹介	年3回実施	176	176	年3回実施 ・ふるさと鶴田会役員会 ・ " " 総会 ・県庁鶴田会	年3回実施 ・ふるさと鶴田会役員会 ・ " " 総会 ・県庁鶴田会	企画観光課
	③ 地場産品の販路拡大事業	スチューベンぶどう販路拡大トップセールス及び試食宣伝活動	年3回開催	1,609	240	トップセールス 1回 ・東京都(2か所) 副知事表敬訪問 1回	トップセールス 計4回 ・愛知県 1回 ・東京都 3回 青森県フェア 計1回 ・愛知県 1回	産業課
		観光・物産資源PRキャンペーン	年2回参加	100	98	試飲・試食 ・町イチ!村イチ!2017(38) ・ツルタの恩返し(60)	ツルタの恩返し試飲・試食	企画観光課
	計			2,629	1,124			

平成29年度 朝ごはん運動実績

基本方針		5 食育推進の強化						
ガイドライン項目		(1)食に関する様々な体験及び体感による学習の推進に関する事項						
ガイドライン	・保育所、幼稚園、学校で1年に1回は学習の実施を目指す			実績			評価	
				子どもと一緒にクッキングでは、食生活改善推進員のご指導・ご協力のもと、各小・中学校において朝ごはん作りの体験教室を開催し、郷土料理や地場産品、食文化を通じて食育を推進することができた。また、親子を対象として開催した料理教室は自分で料理をするきっかけ作りや親子の絆を深めることに役立った。 教育ファームでは、地域の農家の方々のご協力のもと、小学校において米づくり、りんごづくり、野菜づくりなどの実際の農作業を経験し、収穫の喜びとともに食への知識向上を図った。			平成29年度	
							平成28年度	
実施計画	事務事業名	事務事業内容	実施目標等	平成29年度		平成28年度		担当課
				予算額(千円)	決算額(千円)	進捗状況等	進捗状況等	
	①	子どもと一緒にクッキング	各小学校を対象に、朝ごはん作りの体験教室を実施	各小学校各学年対象 年24回実施	164	164	29回実施(450人)	24回実施(342人)
②	朝ごはん運動推進体験学習の実施(教育ファームの推進)	農業者の指導を受けながら農作業を体験	米づくり(2校) りんごづくり(4校) 野菜づくり(5校)	0	0	米づくり(2校) りんごづくり(4校) 野菜づくり(5校)	米づくり(2校) りんごづくり(4校) 野菜づくり(5校)	教育委員会
	計			164	164			

平成29年度 朝ごはん運動実績

基本方針		5 食育推進の強化						
ガイドライン項目		(2)教育関係者の食育学習の推進に関する事項						
ガイドライン	・1年に1回は学校保健会が中心となり食育学習等の実施を目指す			実績		評価		
				成長期における睡眠の重要性ならびにしっかりと朝食をとることの大切さの理解を深めることを図った。		平成29年度	○	
						平成28年度		○
実施計画	事務事業名	事務事業内容	実施目標等	平成29年度		平成28年度	担当課	
				予算額(千円)	決算額(千円)	進捗状況等		進捗状況等
	新① 食育学習についての研修・研究活動	小中学校・保育所等の情報交換及び推進のための方策研究	年3回実施	0	0	8月1日 13:30~15:00 講演会「子どもの健康 今を変えれば未来も変わる」 東洋大学非常勤講師 管理栄養士 太田百合子 氏 その他会議 2回	7月25日 14:20~16:00 講演会「短命県返上に係る生活習慣病予防について」 県立中央病院 医療管理監 小野正人 氏 その他会議 2回	教育委員会
	計			0	0			

平成29年度 朝ごはん運動実績

基本方針		5 食育推進の強化							
ガイドライン項目		(3)学校給食を通じた食育の推進に関する事項							
ガイドライン	子どもの食に関する理解の促進と町の特色を生かした給食の提供を目指す					実績		評価	
						平成29年度		平成28年度	
						<ul style="list-style-type: none"> <li>郷土食と行事食を合わせて13回実施。学校給食応援隊と連携し、地場産品を使用している。</li> <li>地元食材を活用した食に関する指導の実施。</li> <li>郷土料理や行事食を取り入れた献立の実施。</li> <li>4月-入学進級お祝い(お祝いゼリー)</li> <li>5月-こどもの日(柏餅)</li> <li>6月-虫歯予防週間(アーモンド、小魚)</li> <li>7月-七夕(七夕ゼリー)</li> <li>8月-夏野菜カレー(なす、パプリカ、いんげん等)</li> <li>9月-十五夜(白玉汁、十五夜ゼリー)</li> <li>10月-ハロウィン(かぼちゃプリン)</li> <li>11月-ふるさと産品の日(スチューベンぶどう)</li> <li>12月-クリスマス(クレープ)</li> <li>1月-正月(けの汁、子和え)</li> <li>2月-節分(福豆)</li> <li>3月-雑祭り(雑あられ、卒業お祝いゼリー)</li> <li>11月~2月-鶴田産のりんごを毎食提供</li> <li>・11月に梅沢小学校において生徒と教育長、次長、校長、学校給食応援隊、給食センター調理員が「ふるさと産品の日 交流給食会」を開催した。</li> <li>・11月に青森県学校給食会主催の学校給食献立コンクールに鶴田小6年児童男女トリオチームが参加し、「青森いっぱい・栄養いっぱい給食」という題材で優秀賞を受賞するなど食育の成果が伺えた。</li> </ul>		○	○
実施計画	事務事業名	事務事業内容	実施目標等	平成29年度		平成28年度		担当課	
				予算額(千円)	決算額(千円)	進捗状況等	進捗状況等		
	①	学校給食で郷土食、行事食メニューなどの実施	各小中学校を対象	年12回実施	0	0	郷土食と行事食を合わせて13回実施。 ふるさと産品の日 交流給食会(H29.11.15梅小)の実施。		郷土食と行事食を合わせて13回実施。 ふるさと産品の日 交流給食会(H28.11.16菖小)の実施。
	②	食に関する指導	各小中学校を対象に栄養教諭が食育の授業を実施	年30回実施	0	0	小中学校 合計 74回実施		小中学校 合計 45回実施
新③	学校給食への米粉パン供給	各小中学校を対象	月2回実施	815	69	二学期より月2回 小中学校へ提供 合計15回	-		
計				815	69				

平成29年度 朝ごはん運動実績

基本方針		5 食育推進の強化						
ガイドライン項目		(4)国際交流による食育の推進に関する事項						
ガイドライン	・外国の食文化を体験及び学ぶことで、米食文化の再認識を目指す			実績			評価	
				フッドリバー訪問前に国際交流員が調理した外国料理を中学生大使と保護者が実際に食し、外国食文化とテーブルマナーを体験。			平成29年度	
							平成28年度	
実施計画	事務事業名	事務事業内容	実施目標等	平成29年度		平成28年度	担当課	
				予算額(千円)	決算額(千円)	進捗状況等		進捗状況等
	①	姉妹都市フッドリバー中学生親善訪問事業	外国の食生活を学ぶ	年1回実施 参加人員20人	52	11	フッドリバー訪問団員9人	フッドリバー訪問団員23人
	計			52	11			

平成29年度 朝ごはん運動実績

基本方針		6 米文化の継承						
ガイドライン項目		(1)米の生産者と消費者との交流の促進に関する事項						
ガイドライン	・生産者と消費者との情報交流の場の設定を目指す			実績			評価	
				町内外でのイベントにおいて、農産物等の販売による消費者との交流が図られた。			平成29年度	○
							平成28年度	
実施計画	事務事業名	事務事業内容	実施目標等	平成29年度		平成28年度	担当課	
				予算額(千円)	決算額(千円)	進捗状況等		進捗状況等
	①	町内外のイベントで地域産農産物等の紹介	各種イベント等における特産品の情報発信活動	随時実施	0	445		計1回 ・龍巻寿司
計				0	445			

平成29年度 朝ごはん運動実績

基本方針		6 米文化の継承								
ガイドライン項目		(2)伝統的な米文化の継承の推進に関する事項								
ガイドライン	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伝統的な行事と結びついた米文化の知識や農具・器具等の伝承を目指す</li> <li>・地域における伝統的な米食文化の継承を目指す</li> </ul>			実績			評価			
				管内小学校児童を対象とした「米づくり体験」、「餅つき」などを開催し、日本の伝統的な米文化と米を食することの重要性に関する継承の促進が図られた。						平成29年度
										
										平成28年度
										
実施計画	事務事業名	事務事業内容	実施目標等	平成29年度		平成28年度	担当課			
				予算額(千円)	決算額(千円)	進捗状況等		進捗状況等		
	①	米文化の伝承事業	米づくり体験、餅つき大会の実施	餅つき大会=4小学校(鶴田小・菖蒲川小・梅沢小・胡桃館小)	30	30		11/11鶴田小三世代ふれあいまつり、11/26月くるみふれあいまつり餅つき、12/16梅沢小防犯餅つき大会。	11月鶴田小三世代ふれあいまつり、12月菖蒲川小三世代交流餅つき大会、12月梅沢小防犯餅つき大会。	
②	歴史文化の伝承事業	米料理、伝統料理の継承と古民具の展示	鶴田町歴史文化伝承館の活用	0	0	4月~11月まで2階展示室に、古い農具や民具を展示している。	4月~11月まで2階展示室に、古い農具や民具を展示している。			
計				30	30					

合計	54,850	39,109
----	--------	--------